



大人が変われば、子どもも変わる ～親の思いと高校生の本音で論議～

家庭・行政・職場・地域全体が連携し取り組む、阿蘇市青少年健全育成市民会議（梅木康裕会長）主催、第2回阿蘇市青少年健全育成推進大会が2月3日、一の宮就業改善センターで行われました。

集まった150人を前に、まず、「子どもが健やかに育つ家庭環境・地域環境を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストに、家庭を代表して瓜生田美恵さん（乙姫）、学校を代表して本山和美さん（宮地小PTA役員）、地域を代表して岩永芳幸さん（仲町通り若きやもん会）、職場を代表して岩永良成さん（阿蘇準倫理法人会幹事）、行政を代表して市健康福祉課の加来課長補佐が参加し、梅木会長をコーディネーターに活発に論議が進められました。

続いて、阿蘇高校、阿蘇清峰高校の生徒会代表による「青少年の手本となる大人ってどんな人？」と題した意見発表があり、それぞれの学校で話し合ってきた内容を述べ、大人に対し「他人と比べないで」「無責任な発言・行為はやめて」「テレビ放送はもっと社会的問題を取り上げて」などと忠告。また本題の手本となる大人（目指す大人）では「子どもの気持ちがわかる大人」「社会的ルールを守る大人」「自分の意思をはっきり言える大人」など、清く正義感あふれた大人を目指す高校生のまっすぐな意見が続き、参加者の心を打ちました。

大会の最後には、「親子で明るい家庭づくり標語」の表彰式が行われ、盛会となりました。



▲高校生トークの様子。左からコーディネーターの青木幸治さん（阿蘇準倫理法人会事務長）、中村公彦さん（阿蘇高2年）、緑夏美さん（同1年）、柳川成孝さん（同1年）、山部里沙さん（阿蘇清峰高2年）、木貫まどかさん（同2年）、高木翔平さん（同1年）

標語入賞者

<小学校の部>

- 最優秀賞** 「いちにち1かいしっかりだっこ かぞくのあいじょうむねいっぱい」
佐伯怜計（山田小2年）
- 優秀賞** 本田健泰（阿蘇西小2年）
中嶋隆雅（内牧小1年）
佐藤良美（坂梨小6年）
宮本壮一朗（波野小3年）

<中学校の部>

- 最優秀賞** 「母の味 未来のわたしの お手本だ」
松永葵（阿蘇中2年）
- 優秀賞** 園田和彦（阿蘇中1年）
塚本和也（同1年）
蔵原凌（同2年）
高宮精華（同1年）

<高校の部>

- 最優秀賞** 「一緒に作る夕ご飯 みんなで食べる夕ご飯 会話が弾む夕ご飯 とっても美味しい夕ご飯」
宮川尚子（阿蘇高1年）
- 優秀賞** 富田珠美（阿蘇清峰高3年）、岩崎望（同1年）、平野多真紀（阿蘇高1年）、白石美穂子（同1年）



親子のふれあいを大切に

阿蘇市母子寡婦福祉連合会における若年母子会（丸岡美智子代表）による親子ふれあいクッキングが2月3日、農業構造改善センターで行われ、親子や役員ら約20人が参加しました。

これは、日頃忙しいお母さん方と子ども達が楽しくふれあい、また、母親同士の親睦を深めるために行われたもので、今回が初めての開催。

この日、参加者たちは節分の日にあわせて豆まきを楽しんだあと、参加者全員で作ったカレーライスやサラダなどでテーブルを囲み、親子で談笑するなど楽しいひとときを過ごしました。「若年母子会では年間を通して、様々な活動や催しを行っています。入会すると多くのメリットがあり、また、母親同士の仲間づくりや情報交換の場として大いに活用できるので、気軽に入会していただければ」と丸岡代表。

若年母子会に関する詳細は、TEL 22-4776（丸岡代表）までお問い合わせください。